



デメテル Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.37
Newsletter of Gunma Museum of Natural History 2006.秋・冬

デメテルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。

おかげさまで開館10周年 これからもよろしくお願いします!

群馬県立自然史博物館



常設展示「ボーンベッド」



常設展示の定時解説



開館記念展



サイエンス・サタデー



開館10周年記念企画展

群馬県立自然史博物館は、1996年（平成8年）10月22日に開館し、今年で開館10周年を迎えました。開館以来、これまでに延べ160万人以上の方々に来館していただきました。

常設展では、ガラスの上から化石の発掘現場を見ることができるボーンベッドや迫力ある恐竜たちが展示されているAコーナー「地球の時代」をはじめ5つのコーナーに約3400点の展示物があります。

また、企画展示室を使い開館記念展「アルゼンチンの大恐竜展」を皮切りに自然に関わる様々なテーマで企画展・特別展を行ってきました。現在開催している開館10周年記念企画展「コアラ大陸オーストラリア」で26回目となりました。

これら常設展示や企画展示はいかがだったでしょうか？解説員による定時解説もあり、十分に楽しん

でいただけた方が多いのではないかと思います。

その他、サイエンス・サタデーやミュージアムスクール、ファミリー自然観察会、自然史講座など、各種のイベントを実施してきました。

さらに今年度は開館10周年を記念して、ミュージアムナイトツアー（日帰り探検隊）、バックヤードツアーや記念講演会を行い、博物館を様々な角度から見ていただけるようなイベントを計画しています。

そして、自然史博物館の10年間を振り返る「自然史博物館のあゆみ展」をこの冬に行います。

これからも常設展や企画展・特別展をご覧のいたり、様々なイベントに参加したりして、群馬県立自然史博物館をご利用ください。

（総務普及グループ 上原 久志）

特集

「コアラ大陸オーストラリア」ウラ話

開館10周年記念企画展「コアラ大陸オーストラリア」を開催するには、オーストラリアの博物館とその職員の方々の協力は不可欠でした。その代表として、群馬での列品作業で協力して頂いたウェイン・チャトウィンさん、そしてピーター・トラスラーさんのお二人をご紹介します。

ウェインさんはタスマニア島にあるクィーン・ヴィクトリア美術博物館の職員で、資料や標本を館外の一カ所に多数貸出しを行う時の責任者です。今回、私たち群馬側のスタッフはオーストラリアから届いた荷物を勝手に開けられませんでした。一般にクーリエと呼ばれる立場にあるウェインさんの立会が必要だったからです。中でも展示標本の中で最も貴重なフクロオオカミの剥製は、ウェインさん自身が同じ飛行機で持ってきました。列品の時も、ウェインさんは夜遅くまで当館スタッフと一緒に作業してくれました。



メガラニアの骨盤を取り出すウェインさん



メガラニアの色を調整中のピーターさん

もうお一人のピーターさんはオーストラリアで多くの古生物の復原画を描いているアーティストで、この企画展の監修者の一人であるリッチさんと今まで多くの仕事をしてきました。会場内の古生物イラストのほとんどはピーターさんが描いたものです。数点展示されているオリジナルの中でも、クーラスカスの復原画は、水面に描かれているイチョウの質感を出すのに苦労したそうで、時間が掛かっただけでなく、日本のイチョウも参考にして描いたそうです。列品の時には、複製に実際の標本に近い質感を出すために色を塗ったり、ケース内の標本への光の角度を調整してくれました。またブロックオルニスの展示ではウェインさんと砂遊び(?)をしながら、迫力満点のポーズに並べてくれました。

お二人をはじめ、オーストラリアと日本の多くの方々のご協力で、開催できた「コアラ大陸オーストラリア」。コアラやフクロオオカミ、肺魚をじっくり見るだけでも一見の価値があるのではと思います。展示解説員の解説もありますので、ぜひご来場ください。

お知らせ

- 開館10周年記念企画展「コアラ大陸オーストラリア」では、会期後半に向け一部展示をリニューアル! どころが新しくなるかは乞うご期待!!
- 11月5日には自然史講座「脊椎動物の進化2～有袋類を中心としたほ乳類の進化～」を開催します。講師は当館の木村敏之学芸員です。
- 企画展記念講演会として、10月7日に「有袋類の暮らし」・11月12日に「オセアニアの動物たち」を開催します。講師は、前者が北村昭二さん(群馬サファリパーク)・後者がドクタートミーこと富田京一さん(肉食爬虫類研究所)です。これらのイベントもお見逃し無く!

(学芸グループ 高桑 祐司)

博物館ボランティアを募集します!

自然に関心のある方、自分の生活をより充実させたいと考えている方は、
群馬県立自然史博物館でボランティア活動をしてみませんか?

今年度は、次の内容で、ボランティアの方を募集します。

【活動内容・募集人数】

- ① 解説ボランティア 10人(先着順)
館内常設展示室で、一般の来館者の方に
解説をします。
- ② 資料整理ボランティア 2人(先着順)
キノコの処理・登録1人・動物の骨の整理1人

【資格・条件】

〔解説・資料整理共通〕

- ☆ 高校以上の方で、動物や植物・岩石等の自然に関心のある方
- ☆ 月1~2回程度、博物館に来て活動できる方
- ☆ 事前の研修会に参加して学習できる方

〔資料整理ボランティア〕

- ☆ 動物の骨やキノコの整理に強い関心のある方

【応募方法】

- ☆ はがきまたはFAXに、希望するボランティア名、住所、氏名、年齢、職業、TEL番号を記入して、
博物館ボランティア係までお申し込みください。

【申込期間】

- ☆ 平成18年8月29日(火)~9月30日(土)

【その他】

- ☆ 先着順となっておりますので、定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。
- ☆ 詳しくは、当館にお問い合わせください。



(総務普及グループ 野口 喜充)

★★★ 天体観望会のお知らせ ★★★

今年度から天体観望会が変わります。昨年度までは、事前に申し込んでご参加をいただきましたが、事前申込をなくします。17:30~19:00の都合の良い時間にご来館いただき、観察します。途中で帰宅する用事がある方は、早めの退館もできるようにしました。詳細は以下のとおりです。皆様のご参加をお待ちしております。

- 【開催日】 第1回 平成18年12月16日 土曜日
第2回 平成19年 1月20日 土曜日
- 【内容】 第1回 「秋の星座と星雲・星団をみよう」
第2回 「冬の星座と星雲・星団をみよう」
- 【時間】 受付集合 17:30~
(受付は17:30~19:00)
観察開始 18:00~
(解説は18:20~、19:10~の2回)
終了解散 20:00
(途中退館を希望する方は
お申し出ください)



(総務普及グループ 野村 正弘)

収蔵資料より ゴウシュウアリタソウ

オーストラリア原産の植物は、日本の外来植物の中では少数派です。今回紹介するゴウシュウアリタソウ（豪州有田草：アカザ科）は、その中では最もポピュラーなものです。

この植物が日本で初めて採集されたのは、昭和初期です。群馬県では1950年代から知られ、現在平野部を中心に分布しますが、下仁田町や片品村などの山間地からも採集例があります。

道ばたの空地や畑、花壇などによくみられ、斜上する茎は長さ10～40cmになります。花は緑色で目立たず、植物全体に独特の臭気があります。

（学芸グループ 大森 威宏）



ゴウシュウアリタソウ
（標本スキャン画像:GMNH BS-6769
邑楽郡大泉町産）

インフォメーション（10月～1月の予定）

◆ 開館10周年記念企画展 ◆

「コアラ大陸オーストラリア～ふしぎな動物たちの世界～」2006年7月15日(土)～11月26日(日)
「自然史博物館のあゆみ展」2007年1月4日(木)～2月18日(日)

10月

- 7日(土) 企画展記念講演会「有袋類の暮らし」
- 7日・14日・21日(土) ミュージアムナイトツアー
- 15日(日) ファミリー自然観察会「自然の驚異:火山災害のツメ跡を探る」
- 22日(日) 開館10周年記念講演会「恐竜こぼればなし」
- 22日・29日(日) バックヤードツアー
- 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「コアラの FUN で紙をつくろう」

11月

- 5日(日) 自然史講座「脊椎動物の進化2～有袋類を中心としたほ乳類の進化～」
- バックヤードツアー
- 12日(日) 企画展記念講演会「オセアニアの動物たち」
- 15日(水)・16日(木) 移動博物館(会場:太田市立旭小学校)
- 26日(日) スーパーサイエンスレクチャー「植物の形を決める細胞の形」
- 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「モミジを観察し、パウチ標本をつくろう」

12月

- 16日(土) 天体観望会
- 23日(土)～28日(木) メンテナンス休館
- 29日(金)～31日(日) 年末休館
- 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「岩絵の具を使ってクリスマスカードや年賀状をかこう」

1月

- 1日(月)～3日(水) 年始休館
- 20日(土) 天体観望会
- 23日(火)～26日(金) 資料整理休館
- 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「おもしろアニメで動物の動きを学ぼう」

利用案内

- 開館時間 午前9:30～午後5:00(入館は午後4:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)
- 観覧料 一般①500円/②700円、高校・大学生①300円/②400円
※①は通常料金、②は企画展開催時料金となります
※中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者1名は無料
※有料者20名以上は団体料金で2割引となります

■凡例

- ☎ 電話で申し込み
- 📄 往復ハガキで申し込み
- 🔥 当日会場で申し込み



休館日

○印の日は休館いたします。

10月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14

11月	日	月	火	水	木	金	土
	·	·	·	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11

12月	日	月	火	水	木	金	土
	·	·	·	·	·	1	2
	3	4	5	6	7	8	9

1月	日	月	火	水	木	金	土
	·	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13